

豊潤の里 だより

2/17 地域をあげて防災訓練



南海トラフを震源とする地震の発生と、それに伴う津波の襲来を想定した防災訓練が、地域をあげて実施され、サイレンを合図に323名の参加者が所定の場所(全8か所)に避難しました。訓練終了後は木谷小学校に集まり、防災に関する講演を聞きました。そのあと消火訓練、放水訓練が行われ、最後に豚汁の炊き出しと非常食をいただきました。写真(上)は、地震発生を知らせるサイレンの音を聞いて最寄りの高台(友国地区)に避難した木谷小学校の児童・教職員とそれを誘導した消防団員。



講演会では木谷小学校屋内運動場で東広島市消防局の浜咲安芸津分署長が、昨年7月の豪雨災害の体験を踏まえ、「気象災害から身を守ろう」と題するビデオを使用しながら、「早めの避難に勝る防災なし」と、正確な情報収集と的確な判断の重要性について話されました。



各地区の避難訓練の様子。郷会館では防災倉庫に収納されているリヤカーや各種備品を確認しました(写真左)。東広島市安芸津農産物加工センターには子供を連れて避難した人もいました(写真中)。ケアハウス赤崎さざなみ荘にも多くの人が避難しました(写真右)。



木谷小学校での訓練の様子。初期消火訓練が本物の消火器を使って行われました(写真左)。東広島市消防団第10方面隊第1分団による勇壮な放水訓練(写真中)。訓練の最後に、日赤奉仕団を中心に木谷女性会、地区社協蛟龍が有事の際を想定して作った非常食と豚汁の炊き出しをいただきました(写真右)。

3/6 「2014年広島豪雨」被災地へ視察研修



木谷自治協議会、地区社協蛟龍、お茶の間サロンほぼろ島から、参加を希望した25名が合同で視察研修を行いました。昨年7月の西日本豪雨の約4年前、広島市安佐北区・安佐南区での豪雨により発生した土石流災害。現在も砂防堰堤の築造工事が続いている八木地区で、当時の被害の凄まじさとその後の復興の様子について学びました。視察先との交渉とマイクロバスの利用について、東広島市社会福祉協議会安芸津支所のお世話になりました。



“こころ”の復興と防災・減災の啓発活動の拠点として2016年に開設された「復興交流館モンドラゴン」(写真左)。

この施設の活動の様子は、[YouTube](#)でも視聴することができます(「復興交流館モンドラゴン」で検索)。

復興交流館近くの民家で、松井憲事務局長から被災当時の状況と復興に向けた活動について説明を聞きました。

被災前よりも住みやすく、再びこのような災害に遭わない安心・安全な街づくりが進行中でした(写真右)。

1/26 小学校児童との物づくりふれあい集会



木谷自治協と小学校の共催で開かれました。3～6年生は身近な素材の竹を加工して竹トンボなどの遊具を作るなかで、地域の人や保護者から道具の使い方を教わり、自分の気付きや工夫も加えて物づくりの楽しさと難しさを体験しました(写真左)。遊びや作業の合間に代表的な和文化である抹茶を味わいました(写真中・右)。



1・2年生は地域の人から教わりながら、屋内では「お手玉」や「コマ回し」など、屋外では「けんぱ」や「おしくらまんじゅう」など、地域の年配者が子供のころ熱中した遊びを体験しました。(写真提供: 木谷小学校)

反対署名 7,126人!!

産廃建設反対署名の2次集約が先日まとまりました。2月末時点で7,126署名。誠にありがとうございました。事業者(株)栗本ホールディングスは2月頃から地権者への訪問を行っています。土地が業者に渡るか否かで、すべてが決まると言っても過言ではありません。江田島市における汚染土壌処理施設反対の運動においては、4万以上の署名を集めたものの広島県は「許可」を出しました。これはすでに業者が土地を取得していることに



起因しています。私たちができることは土地が業者に渡らないようお願いすることと、業者に反対の意志を継続して伝えていくことです。署名活動はこれからも継続していきます。「赤土のふるさと」を子や孫につなげていくために根気強く頑張りましょう。

- ◆民間業者・・・言う事が違う。信頼できない。
- ◆産業廃棄物・・・アスベストも入っている。何が埋められるか分からない! 住民が15年間、24時間監視は不可能。
- ◆また最終処分場・・・すでに公的な最終処分場・し尿処理場があるのになぜ。風評被害で馬鈴薯・カキが売れなくなる。
- ◆豪雨・地震・・・7月に起きた豪雨がまた起きたら。大地震が起きたら。埋め立てられた廃棄物はすべて海へ流れ出る。

福祉生活部会

部会活動紹介



3/21 友愛訪問（高齢者におはぎをプレゼント）

春分の日、木谷自治協の援助により木谷地区社協 蛟龍が“おはぎ”をつくり、77歳以上の高齢者などに区長さんが訪問して手渡しました。今回の対象者は316名でした。 <木谷地区社協 蛟龍>

木谷の伝統行事



木谷地域では節分のころ行われる「神明さん（神明まつり）」。「平安時代の宮中行事に起源があるといわれるこの行事、今年 は赤崎が1月27日（左上）、郷は2月3日（左下）、西の谷が2月10日（右下）に実施されました。各家庭から持ち寄った書初めや正月のしめ飾り、古くなった御幣などと一緒に火をつけ、炎と煙に包まれて勢いよく燃えるのを見守りました。火の勢いが収まったのを見計らい、この1年の健康を願い、残り火で餅を焼いて食べました。



無病息災・五穀豊穡
学業成就・家内安全



<2019年5月までの各部会の主な活動予定 >

次世代部会	4月6日(土)	～春休み～ シロウオとあそぼう！<木谷はっけん野あそび会>
体育振興部会	4月27日(土)	グラウンドゴルフ大会（砂原公園にて）
木谷自治協議会	★5月12日(日)	木谷自治協議会総会・産廃反対学習会
	5月26日(日)	地域運動会（木谷小学校の運動会の終了後）

木谷の人口（住民基本台帳）	世帯数	人口（男女計）	男	女
平成31年2月末現在	704	1603	777	826
平成30年2月末との比較	+2	-37	-12	-25